



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地

048(295)4102 FAX 048(295)5661

URL <https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



・心身ともにたくましい生徒
・自ら進んで学ぶ生徒
・豊かな情操を培う生徒

クーベルタン男爵のオリンピズム

校長 鈴木 玲

一か月以上に及ぶ長い夏休みを終え、2学期がスタートします。休みの期間中には大きな地震や台風、異常とも言えるほどの暑さを伝えるニュースもありましたが、本校の生徒やそのご家庭に関する事故等の知らせが全くなかったことに、ほっと一安心です。

この夏休み中の大きなニュースと言えば、パリで行われたオリンピックを欠くことはできません。日本は20個の金メダルをはじめとし、金・銀・銅の全てを合わせると45個のメダルを獲得しました。中でも、スケートボードやスポーツクライミングなどの競技では生徒たちに近い中高生年代の若い力の躍動を見ることができました。

オリンピックの起源は、紀元前8世紀の古代ギリシャの競技会にあります。その競技会を19世紀末に復活させたのが「近代オリンピックの父」と呼ばれるフランスの教育者ピエール・ド・クーベルタン男爵です。クーベルタン男爵には、スポーツを通して平和でよりよい世界の実現に貢献したいという思いがありました。現在もその考えは継承され、オリンピック憲章には根本原則としてオリンピズム（オリンピック精神）について「スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究するものである」とし、「その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに人権および普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする」と記されています。オリンピックはスポーツの競技会ですから「スポーツを文化、教育と融合させ……」と主体が「スポーツ」になりますが、主体を置き換えれば「教育をスポーツ、文化と融合させ、生き方の創造を探究する」と言うこともできます。まさに、私たちが日頃、生徒に求め、実践している指導です。生徒たちには「努力する喜び」や「良い模範であることの誇りや社会的な責任」「人権や倫理規範の尊重」を身に付けて欲しいと願っている点も同じです。

多くの日本人選手が戦いの舞台を国外に移し、勝つことができる力を付けてきた今、出場選手にはメダルを期待し、日本が獲得したメダルの数に注目することが当たり前になりました。しかし、クーベルタン男爵が求めていたのは国同士の競い合いではなく、各選手、一人の競技者としての挑戦だったのではないのでしょうか？ かつてオリンピックは「参加することに意義がある」と

言われていました（最近 聞かないですね）。先程のようにオリンピック精神を私たちが日々実践している教育活動と同様に考えるならば、結果もちろん大切ですが、まずは生徒のみなさんが生活の中でそれぞれに「挑戦していることに意義がある」のだと思います。

2学期、学校外に目を向ければ市民体育祭があり、校内では合唱コンクールもあります。3年生は進路に向けてラストスパートです。まずは高い目標をもち続け、^{ひる}怯まず挑戦してください。そして、結果の良し悪しに関わらず、その結果から自分自身の生き方の創造を探究してください。みなさんの「挑戦」と「成長」に期待しています。



在家中マスコット
ぽーちゃん